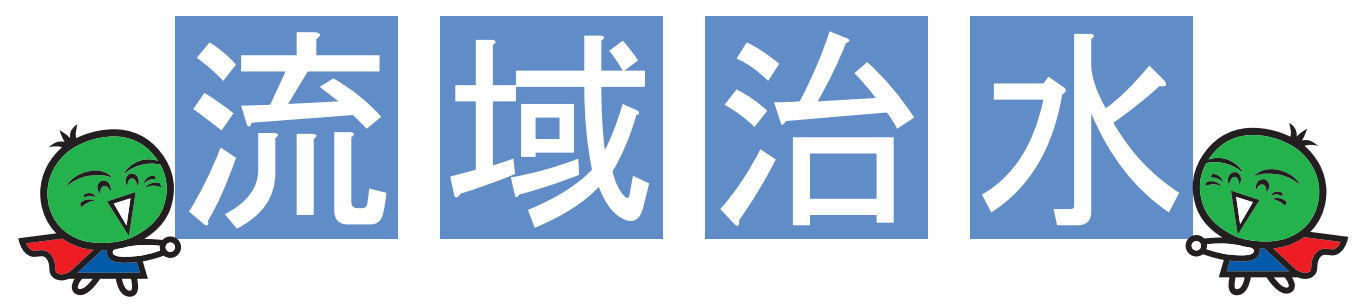


水害から命を守るために
流域全体ではじめましょう



by ALL
みんなで備える



まずはこちらをご覧ください



コルシカ島水資源機構作成動画
(国立環境研究所 気候変動適応センター翻訳)



国土交通省チャンネル

お問い合わせ先		徳島県
○特定都市河川浸水被害対策法全般に関すること ○河川事業及び雨水貯留浸透施設の整備等に関すること	県土整備部河川整備課 流域治水担当 TEL:088-621-2572	
○下水道の整備等に関すること	県土整備部水環境整備課 経営企画・下水道担当 TEL:088-621-2729	
○がけ地近接等危険住宅移転事業等に関すること	県土整備部住宅課 企画担当 TEL:088-621-2594	
○土地区画整理事業に関すること ○防災集団移転促進事業等に関すること	県土整備部都市計画課 盛土防災・事前復興担当 TEL:088-621-2596	
○農地整備、田んぼダム等に関すること	農林水産部生産基盤課 農業基盤整備担当 TEL:088-621-2433	
○森林整備事業、治山事業等に関すること	農林水産部森林土木保全課 森林土木担当、森林保全担当 TEL:088-621-2466	

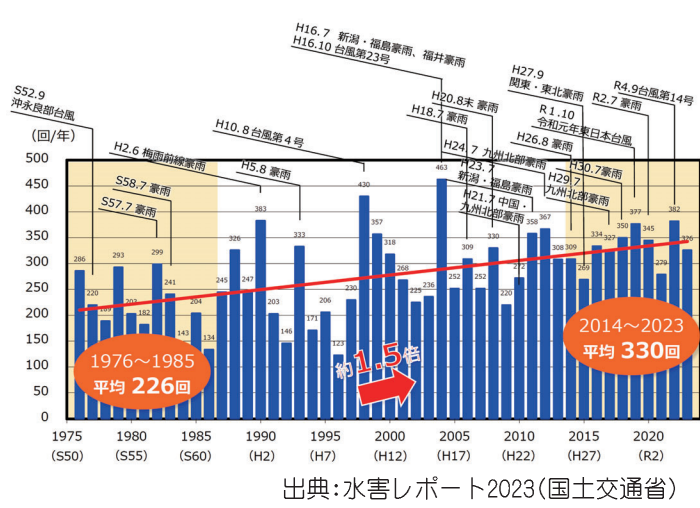
気候変動による水害リスクの増加

近年、洪水や土砂災害を引き起こす大雨や短時間強雨の回数が増加しており、1時間雨量50mm以上という短時間強雨が、過去40年で約1.5倍に増えています。これは、気候変動による影響とされています。

徳島県においても、いつ大規模な豪雨災害が発生してもおかしくない状況であり、ますます水害リスクが高まっている状況です。



過去40年で豪雨の発生回数が約1.5倍に増加！！



新たな治水対策「流域治水」への転換

気候変動の影響に伴う降雨量の増加に対応していくためには、これまでの取組の枠を超えて、更なる対策の強化を図っていく必要があります。そのため、河川整備をより一層加速化するとともに、企業や住民など、流域のあらゆる関係者が協働して豪雨災害対策に取り組む、「流域治水」への転換が必要不可欠です。



流域に関わるあらゆる関係者が協働して治水対策を行うこと



「流域治水」の3つの対策テーマ

流域治水の対策は、次の3つに分類することができます。

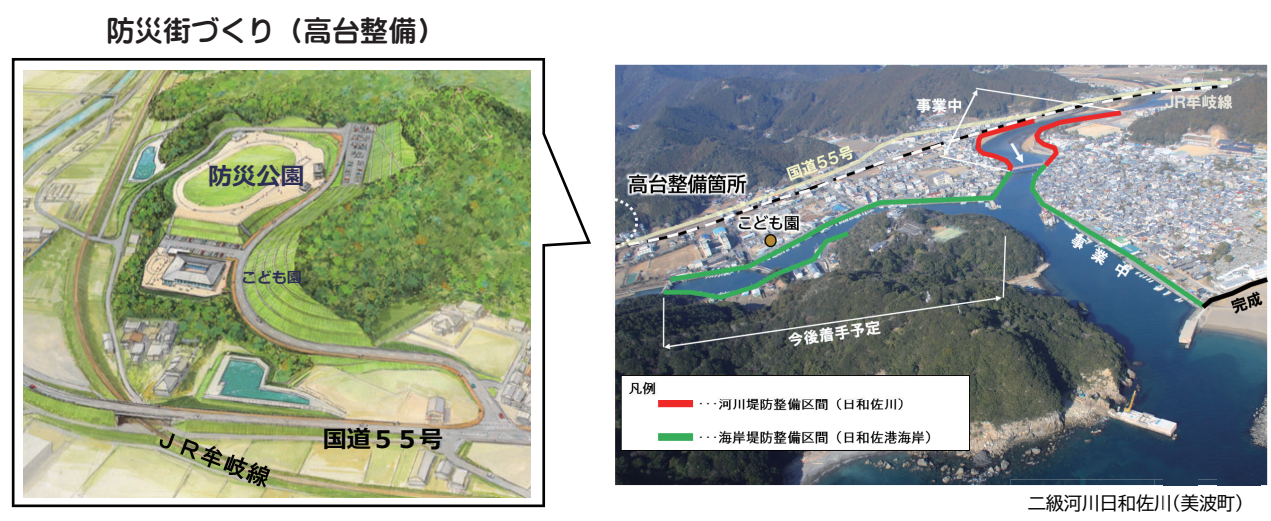
1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

集水域で水を貯めたり、河川の整備を進めて、**河川の氾濫を防ぎ、減らす**こと！



2. 被害対象を減少させるための対策

危険な場所を指定したり、安全な場所への移転を促して**被害対象(建物等)を減らす**こと！



3. 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

避難計画を作っておくなどの避難への備えをし、避難場所を整備して被害をできるだけ減らすことで**復旧・復興に取り組む段階を早くする**こと！



流域治水として、私たち個人が出来ること

流域治水は、行政だけでなく住民や企業の皆様も取り組める対策がたくさんあります。常日頃、できることから積極的に取り組みましょう。

防災情報

災害発生時には、迅速に正確な災害情報を入手することで、正しい避難行動を取ることが出来ます。
「徳島県公式LINE」に登録し、**災害に関する最新情報を受信**しましょう。



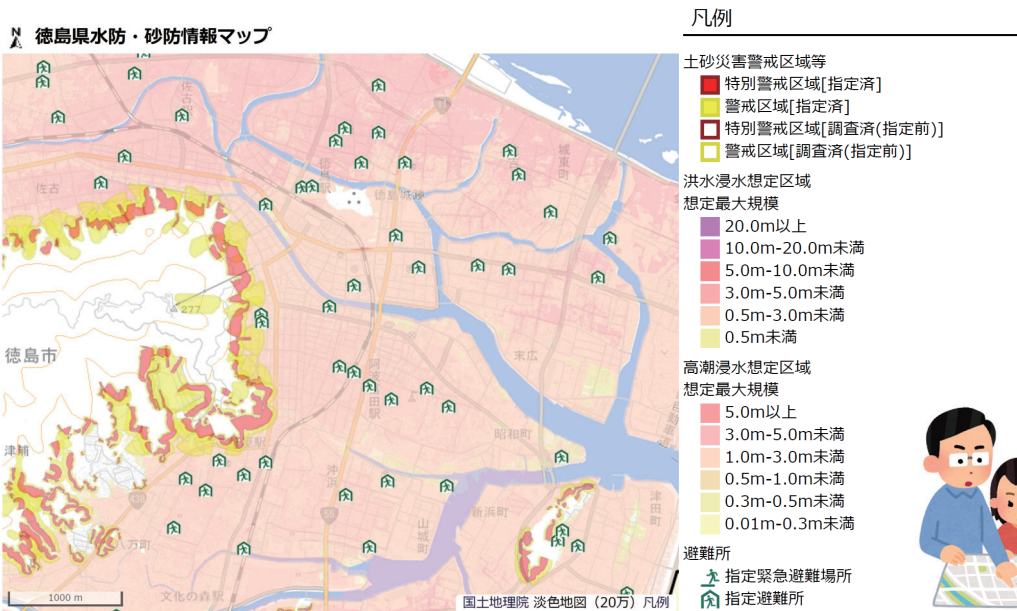
- (例)
- 🔔 徳島市、石井町に大雨警報が発表！
 - 🔔 長安口ダム放流。川から離れて！
 - 🔔 大雨のため国道32号が通行止め！



県公式LINEはこちら▲

ハザードマップの確認

洪水が発生した場合の浸水区域や浸水深、最寄りの避難所等の情報を表示した「**ハザードマップ**」を**事前確認**しておくことで、いざという時に、円滑に、迅速に、安全に避難することが出来ます。



徳島県水防・砂防
情報マップはこちら▲

詳しいハザード
マップは各市町村
のホームページで
確認できます。



ファミリー・タイムラインの作成

災害が発生したときに家族が安全に避難するための避難行動計画「**ファミリータイムライン**」を**作成**しましょう。
いざという時に、あせらず避難することが出来ます。



大麻中学校(鳴門市)



ファミリータイムライン
作成支援はこちら▲

自然地等の保全 への参加・協力

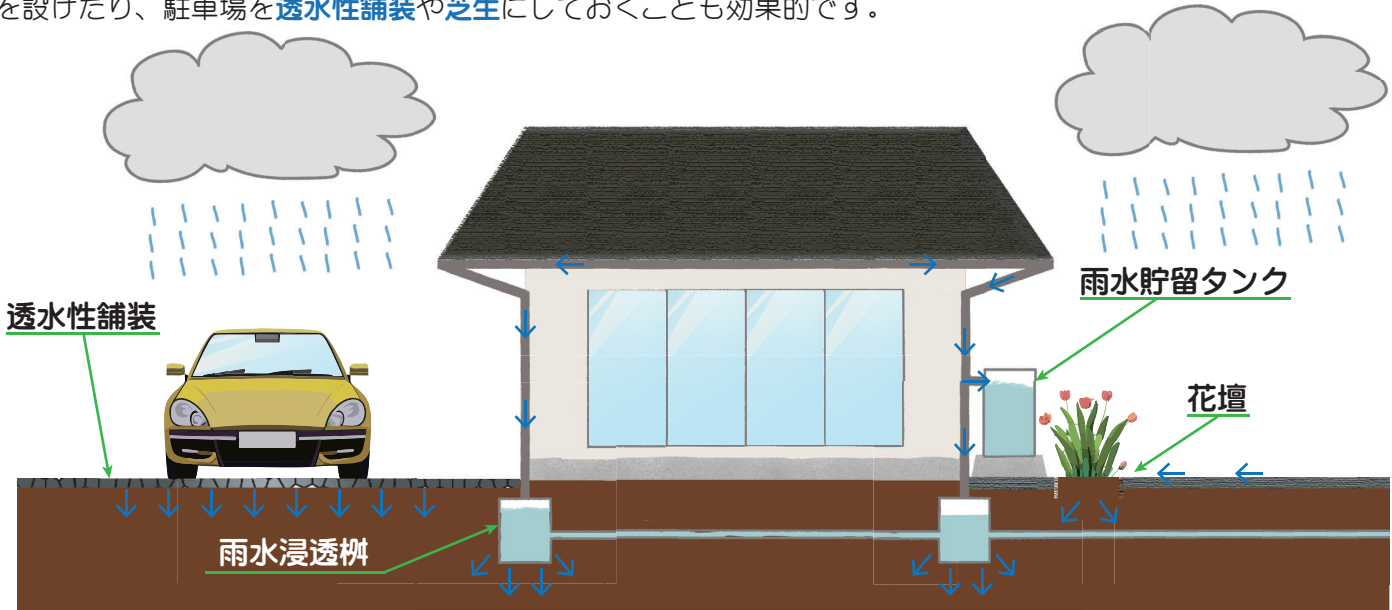
雨水を貯める・染みこませる役割を持つ**森林や田んぼ・ため池などを保全**することも重要です。
森林や田畑保全のために活動している団体の取り組みに参加してみましょう。



吉野川上流高知県大川村での植樹

家庭で出来る雨水貯留

公共施設だけでなく、自宅でも出来る**雨水貯留**の方法があります。**雨水貯留タンク**や**雨水浸透ます**のほか、庭に**花壇**を設けたり、駐車場を**透水性舗装**や**芝生**にしておくことも効果的です。



家庭にあるもので出来る水害対策

家屋への浸水被害を防ぐために、**止水壁**や**土のう**、**水のう**を設置する方法があります。また、家の周りの**側溝**や**雨水ます**を**清掃**しておくことも効果的です。



徳島県内における流域治水の取組

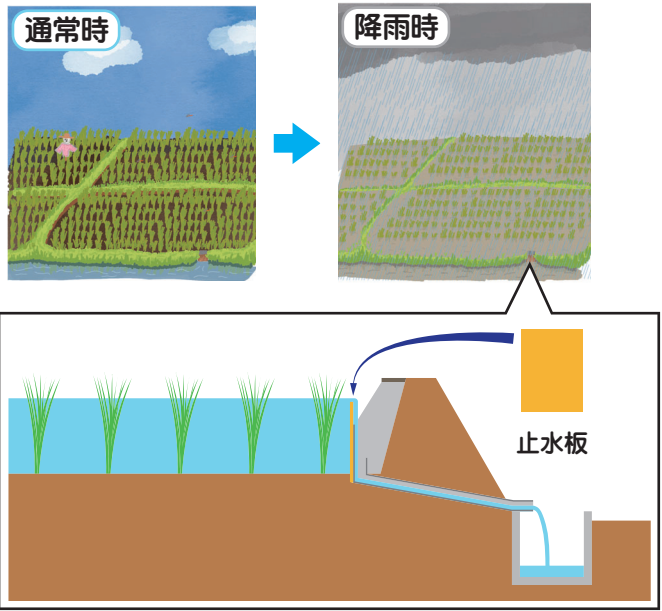
徳島県内で実施されている対策の一例を紹介し
ます。新たな制度を活用した条例の制定
や、施設の整備など、関係者が一丸となっ
て取り組んでいます。

田んぼダムの整備

河川区域外では、水田の持つ貯水機能を利用し、大雨が降った際に一時的に水を貯め、時間をかけて排水することで、排水路や河川の水位上昇を抑えることの出来る「田んぼダム」を整備しています。

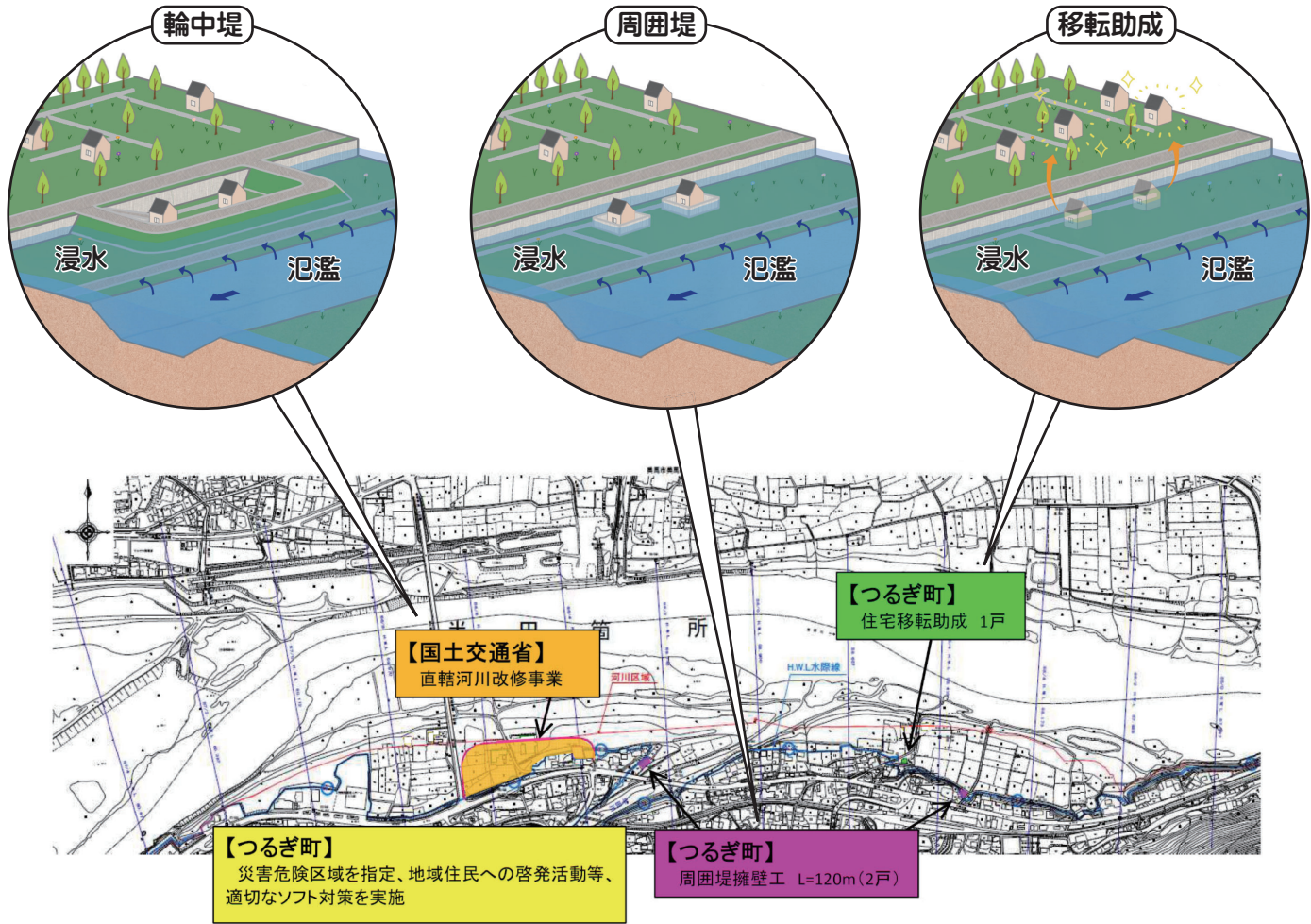


吉野川氾田地区（美馬市）



洪水氾濫域減災対策事業の実施

つるぎ町では、国土交通省が実施する直轄河川改修事業（輪中堤＋宅地嵩上げ）の整備と併せ、つるぎ町が浸水家屋の周囲堤の整備や、住宅移転助成による浸水対策を実施することで、浸水被害の軽減を図っています。
さらに、つるぎ町が河川氾濫災害危険区域に関する条例を制定し、吉野川の氾濫で浸水する恐れがある範囲について、住家等の建築を制限し、浸水被害を防止しています。



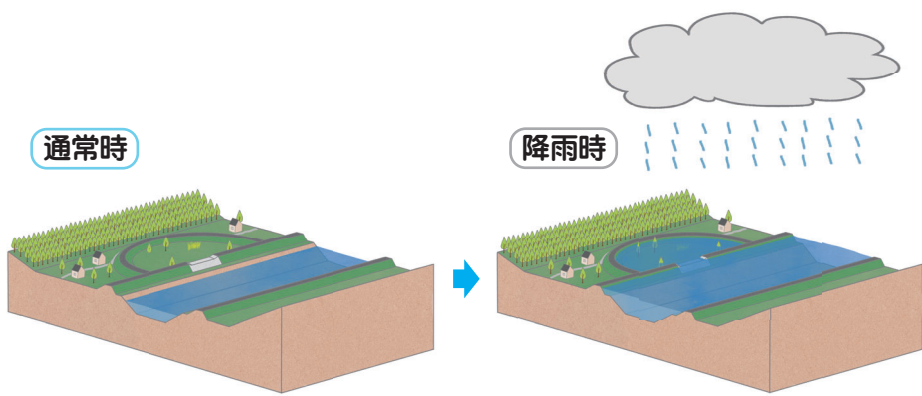
これからの取組

遊水地の整備

遊水地は、河川に接する土地の一部を堤防で囲み、その中を掘り下げて造る治水施設です。台風や大雨があっても、県民の皆さんの生命や住宅、農地などの財産を、洪水の被害から守ります。

特定都市河川の指定

流域治水をより強力に進めるため、「特定都市河川浸水被害対策法等の一部を改正する法律（流域治水関連法）」が整備され、改正前に特定都市河川の指定対象とされていなかった流域が指定の対象となっています。特定都市河川に指定されることによって、水災害リスクを踏まえた安全なまちづくり・住まいづくりを推進できます。



指定によるメリット



浸水被害対策の加速化



貯留機能の向上

土地利用規制の明確化



特定都市河川ポータル
サイトはこちら▲

様々な支援事業の紹介

県民の皆さんの協力なしでは成し遂げられない「流域治水」を達成するために、様々な支援制度が設けられています。下表はほんの一例です。詳しくは「流域治水等の主な支援事業集」をご覧ください。



「流域治水等の主な
支援事業集」はこちら▲



内容	支援策	交付金等	県の所管	支援先
水田の貯留機能向上	補助金	農業競争力強化農地整備事業など	●農林水産部生産基盤課	地方公共団体等
	交付金	多面的機能支払交付金	●農林水産部生産基盤課	市町村長が事業計画を認定した活動組織等
雨水貯留浸透施設 ・貯留・浸透機能を持つ施設の整備 ・既設の調整池、池沼又は溜め池の改良	補助金	特定都市河川浸水被害対策推進事業	●県土整備部河川整備課	地方公共団体等
森林の浸透・保水機能の発揮	補助金等	森林整備事業	●農林水産部森林土木保全課	地方公共団体 森林所有者 森林組合等
雨水貯留浸透施設	税制特例	浸水被害対策のための雨水貯留浸透施設の整備に係る特例措置（固定資産税）	●県土整備部河川整備課	民間事業者等
宅地嵩上げ	補助金	特定都市河川浸水被害対策推進事業	●県土整備部河川整備課	河川管理者
災害ハザードエリアからの移転	補助金	防災集団移転促進事業	●県土整備部都市計画課	地方公共団体
	補助金	特定都市河川浸水被害対策推進事業	●県土整備部河川整備課	河川管理者
・	・	・	・	・